

旧申10号 安全・安定輸送の確保に向けた緊急申し入れ

団体交渉を行う！

1項：4月28日に発生した上越新幹線における変電所トラブルによる輸送障害の原因と対策について明らかにすること。

組 合：今回のトラブルにおける直接的な原因は何か。

会 社：変電機器を制御する装置の基板が何かしらの原因で故障したということが推定されている。

組 合：5月の段階で国交省に報告してから現在7ヶ月が経過をしている。進捗が何かあるのか。

会 社：メーカーである東芝の協力を得ながら実際に故障した基板を分析しながら何が原因であったのか、基板の何が壊れたのかといったところを調査を詳しく実施してもらっている。

組 合：メーカーの仕様検討などで結果的には防げたのか。

会 社：変電設備については2重系で片方が壊れても、もう一方で供給ができるような仕組みを実施している。2つが壊れたように見えるような故障がでるとするのは、想定はしていなかった。

組 合：今回の対策として実施している以外のものは検討されていないのか。

会 社：今回のことを踏まえて色々内部的な接点の渡し方、断路遮断器等をどういった条件で開放するかといったところも検討していて、例えば1系、2系両系の信号が入らなければ機器を動作させないだとか、取替又はオーバーホールの適切な時期を把握して実施をしていくような対策を検討している。

2項：国土交通省に報告した検証・検討内容について明らかにすること。

組 合：回答を出してからだいぶ日も経っている。ある程度対策等も出したと思うが進捗状況やその後に原因がわかって追加する対策だとか、この回答書以外に追加なり変更になったものはあるのか。

会 社：上越新幹線については今もまさに原因究明中。新潟変電所の火災については、対策としては実施しているので、基本的にこれ以外の結果というところはない。ただ、上越新幹線については原因究明ないし対策等が固まったらこちらは報告するかどうかも含めて社内で整理をしていきたいと考えている。

3項：新幹線統括本部設置の目的を鑑み、現段階の評価について明らかにすること。また、異常時対応力の向上に向けて、新幹線部門に係わる現業機関の体制を強化すること。

組 合：総合技術者の育成ということで回答もされているが、現状としては電力で言うと変電の関係の知識がある方が中々多くはないという認識も持っているので、現場感覚としてはやはり分野に特化した方が必要ではないかという声もある。今回の事象も変電の関係で出てきてしまった部分はあると思うので、やはり各分野に特化した教育をしていくというのが非常に必要ではないか。

会 社：自分の軸足の系統というのは、最終的には出ていくという可能性はあるけども、今回のような事象についても総合技術者として変電の知識があればもう少し速やかに復旧できた可能性は捨てきれないと思っているので、引き続きしっかりとそういった電車・電灯・変電の教育は実施をしていきたいと考えている。

組 合：本社と新幹線統括本部の連携はしっかりと取ってもらいたいし、新幹線は当社の基幹部門を担っている部分であるから、そういうところには問題意識を今まで以上に持つことは必要だ。

会 社：了解。

4項：大規模輸送障害が発生した際には、労使間において原因と対策について共有すること。

組 合：団体交渉の議論の場もあるが、その他に何かあったら窓口での対応等も、様々な場はあると思うので、そこでの対応としても我々としてはしっかり対応してもらいたい。

会 社：様々な労使議論というか、コミュニケーションの場はある。窓口として返せることも当然あろうかと思う。貴側から質問等いただければ会社として返せるものについてはしっかりとしていきたい。ただ、タイミングとか、どこまでの内容を返せるのかというのは都度都度の判断になろうかと思う。

申し入れから7か月！緊急申し入れをどう認識しているのか！